

2013年度杏林大学英语

解答

[I]

- (ア) ③
- (イ) ①
- (ウ) ④
- (エ) ④
- (オ) ①
- (カ) ①
- (キ) ③
- (ク) ③
- (ケ) ③
- (コ) ①
- (サ) ②
- (シ) ②
- (ス) ④
- (セ) ③
- (ソ) ③

[II]

- (ア) ①
- (イ) ④

- (ウ) ③
- (エ) ②
- (オ) ④

[III]

- (ア) ②
- (イ) ①
- (ウ) ③
- (エ) ②
- (オ) ③
- (カ) ①
- (キ) ③
- (ク) ③
- (ケ) ④
- (コ) ②

[IV]

- (英文1)
- (ア) ①
- (イ) ①

- (ウ) ③
- (エ) ④
- (オ) ①
- (カ) ②
- (キ) ④
- (ク) ①
- (ケ) ③
- (コ) ④

(英文2)

- (サ) ①
- (シ) ④
- (ス) ①
- (セ) ③
- (ソ) ③
- (タ) ①
- (チ) ③
- (ツ) ①
- (テ) ③
- (ト) ②

[I]

- (ア) ③

「彼の声明には信じられないほど説得力があった」
○persuasive 「説得力のある」、○persuasion 「説得力」、○persuade 「説得する」

- (イ) ①

「彼らはその方法がなぜうまくいくのかわからない。まったくわからない」
○no idea at all 「まったくわからない」

(ウ) ④

「痛みは腫瘍，感染，炎症の徴候である」

○symptom 「徴候，症状」，○tumor 「腫瘍」，○infection 「感染」，○inflammation 「炎症」

(エ) ④

「それを見て，その女性はとたんに哀れんだ」

○be struck with 「とたんに～なる，心を打たれる」，○strained 「張り詰めた」，○stroke 「脳卒中」，○strew 「ばらまく」

(オ) ①

「それでは，ここに我々がこの目標に取り組む方法があります」

approach 「～に近づく，取り組む」は，他動詞である。

(カ) ①

「試行錯誤をとおして，奇跡を起こすのは単に生物学上のシステムだけではない」

It is ~ that の強調構文になっている。

○biological 「生物学上の」，○trial and error 「試行錯誤」

(キ) ③

「じゃあ次は，私はヘルマン・ゲーリングにしよう。彼がニュルンベルクで尋問されているの様子がここに写されている」

絵や写真などが飾られているところを歩きながら，次のを見に行こうという状況が想像できる。picture+O+doing 「O が～しているのを描写する，写す」

○Herman Goering 「ヘルマン・ゲーリング (ドイツの政治家)」，○interrogate 「尋問する」，○Nuremberg 「ニュルンベルク (ドイツの都市)」

(ク) ③

「我々は，あるいくつかの方法において，ほぼ間違いを起こすように作られているだけのよう気がする」

○It feels like that ~ 「～のよう気がする」，○might = perhaps, almost = closely, just = only, ○in certain ways 「あるいくつかの方法において」

(ケ) ③

「私が会ったとき彼女は昨年 16 歳だった。そして彼女はプロのダンサーになることを熱望

していた」

○aspire to do 「～したいと熱望する」

(コ) ①

「自閉症が具体的にはどういうものかについて少し話しましょう」

補語になれる疑問詞 **what** が適切である。

○start out 「出発する, とりかかる」, ○autism 「自閉症」

(サ) ②

「どのくらいリスクを負うのかという人々の直感は, 人によって様々である」

不可算名詞の **risk** にあわせて, **how much risk** 「どのくらいのリスク」となる。

○intuition 「直感」, ○vary depending on 「～によって変わる」

(シ) ②

「その泥棒たちは警察が到着するまでずっとラッシュアワーの渋滞で逃げ場を失った」

○until 「～までずっと」, ○be trapped 「逃げ場を失う」

(ス) ④

「我々はたくさんの異なった状況の中で, たくさんの間違いをする」

○in a lot of different contexts 「たくさんの異なった状況の中で」

(セ) ③

「その数学者は彼の 30 歳の誕生日直前に自殺した」

○shortly before 「直ぐ前に」

(ソ) ③

「彼女が窓を閉めるとすぐに, 雨が降り始めた」

No sooner had S + 過去分詞 than S' + 過去形 「S が～するとすぐに～」という意味である。

倒置になっているので, 疑問文と同じ順番になる。

[II]

(ア) ①

A: 「交通渋滞を避ける為に今出かけませんか」

B: 「いい計画ですね。でもすぐに準備できるかわからない。わたし抜きで行った方がいい」

○I doubt I'll be ready anytime soon. 「すぐに準備できるかわからない」

(イ) ④

A: 「ブラウン先生の明日の試験がちょっと心配です」

B: 「それはなんですか。その為にたくさん学習してきたでしょう」

A: 「はい。しかし彼女のテストは難しいと知られています」

○tricky = difficult, ○be known to be 「～と知られている」

(ウ) ③

A: 「2月2日から3泊空いているシングルルームはありますか」

B: 「幸運ですね。1つ残っています」

A: 「それにします。それからそのホテルにレストランはありますか」

B: 「申し訳ありませんがございません。しかし歩いて行ける距離にたくさんあります」

(エ) ②

A: 「かなり怒っていますね。何かあったのですか」

B: 「両親が私を出て行かないようにしているだけです」

A: 「元気を出して。たいていあなたの為にベストであることを望んでいるだけです」

○keep 人 from ~ing 「人に～させないようにする」, ○move out 「出て行く」

(オ) ④

A: 「やあジェーン。ここであなたに会うとは思っていなかった」

B: 「実は以前ここに来たことがなかった。よくここで買い物しますか」

A: 「します。町では一番の品揃えがあると思います」

○run into 「偶然会う」, ○carry through 「成し遂げる」

[III]

(ア) ②

leave school → to leave school

「私の息子、テリーは幼い頃に退学させられた」

使役動詞 make の受身の形である。be made to do となる。

(イ) ①

having my life → have my life

「もし私が万が一生まれ変わるなら、本当に医師になりたい」

仮定法 If S were to の後は動詞の原形がくる。

○over again 「もう一度」

(ウ) ③

are of → is of

「正誤の違い単に知ることは、それ自体ほとんど価値はない」

The mere knowing 「単に」は三人称単数である。

(エ) ②

a bad custom → a bad habit

「いったん悪い習慣が身に付くと、そこから抜け出すのに多くの時間と努力を要する」

custom 「慣わし、流儀」という意味である。a bad habit 「悪い癖」と表現できる。

(オ) ③

because → because of

「この頃、強い円の為にますます多くの日本人が外国を訪れるようになっている。その為、成田空港はとても混雑している」

(カ) ①

Hurrying reading → Hurried reading

「急ぎの読書は、学習者が読む内容の半分は忘れることになる」

hurried ~ の使い方を覚えると良い。 e.g. hurried step 「急ぎ足」、hurried survey 「急ぎの調査」、hurried trip 「あわただしい旅」

(キ) ③

no more → no less

「それぞれの格言は、バランスを取る為に、よく考えられているがそれでもやはり、反対の格言をもっている」

no more 「それ以上～ない、もはや～しない」ではなく、no less 「それでもやはり、なお、実に、確かに、まさしく」にすると、意味がとおる。

○wise saying 「格言」、○wise 「賢い、よく考えられている」

(ク) ③

for → in

「天気予報によれば、明日は雪になるそうだ。これは日本の太平洋側で、過去二十年間で最大の雪らしい」

○in the past twenty years 「過去二十年間で」、○apparently 「見たところ～らしい」

(ケ) ④

make sense of → make sense

「日本人はきれいに英語を発音することに関してあまりにも気にしすぎている。大切なのはあなたの言うことが意味をなしているかどうかである」

○make sense of 「～を理解する」、○make sense 「意味をなす」

(コ) ②

fallen → fell

「日が暮れて、メアリーが出かける計画について考え直した」

○darkness fall 「あたりが暗くなる、日が暮れる」、○have second thought about ～ 「～について考え直す」

[IV]

(英文1)

和訳

ある種が他の種と関わることによって、様々なチャンスをも有効に使うという面白い例として、人間以外の他の動物によって行われる偽りに目を向けることができる。真似をして欺くことはよく知られている。例えばカバイロイチモンジは、オオカバマダラに似ていて、後者（オオカバマダラ）の悪趣味のために利益を得ている。カッコーとコウウチョウは他の鳥の巣に卵を産んで、また別の種類の欺く行為をする。その侵入してきたひなは、その後、その巣の中の卵やひなを排除して里親の関心を独占する。しかし、実際の偽りについてはどうだろうか？

我々は人々が偽るのを耳にすることに慣れていますが、それは他の生き物においていくらかもっと一般的なものである。アルゼンチンの海軍がラプラタ川の流域で潜水艦を見つけるとき、その軍事予算が立法部によって検討されようとしている直前に、追加の資産を獲得する為に偽装が行われていると我々は疑う。そして我々は特に驚かない。しかし鳥の間で似たような行動は、さらに思いもよらないことなのである。

このようなある事例は、私の友達のチャールス・マン、ペルーのマヌ国立公園の低地熱帯林における混群を研究している鳥類学者によって最近発見された。ある種は森の下層またはもっと下の層と一緒に食べ物を探す。中間層ではまた別の種がいる。そこへ、上層からカラフルなフルーツを食べるフウキンチョウが時々彼らに合流する。それぞれの混群において、1羽か2羽の見張りの種類がいて、彼らはたいていその群れの中心近くか少し下にいるそのような方法であちこち動き回る。その『見張り役』は、結果的に危険だとわかるかもしれない、近づいてくる鳥たちの特別な鳴き声によって、その他の鳥たちに警告する。危険がないとあきらかであるときでさえも、下層の群れの為のその見張り役が、時々警告の合図を与えたことにマンは気が付いた。さらに注意深く見ると、彼は、偽の警告により、たびたび見張り役に群れの別のメンバーがさもなければ食べたかもしれない食べ物を横取りできるようにした。注意深い観察によって、その見張り役がその時間の約15%は偽装を行っていて、それによってたびたび利益を得ていたことが明らかになった。その現象はもっと一般的なものかどうかと考えながら、マンは中間層の群れの行動を調査して、そこにいる見張り役が同じことを行っているのを見つけた。見張り役の2種類にとって、偽の合図の割合はだいたい同じであった。多分、もしその割合がもっと高いならば、その合図はその群れの残りの鳥によって受け入れられないだろうし、もしもっと低ければ、その見張り役が偽りによって追加の食べ物を得るチャンスは、部分的にまたは完全に使われないことになるだろう。

<出題された単語・熟語・文法・センテンス>

- exploitation 「利己的利用, 搾取」
- lying 「嘘を付くこと, 偽り」
- deception 「欺くこと」
- mimicry 「真似をすること, 模倣」
- viceroy butterfly 「カバイロイチョモンジ」
- monarch 「オオカバマダラ」
- bad taste 「悪趣味」
- cuckoo 「カッコウ」
- cowbird 「コウウチョウ, ムクドリ的一种で牛の群れに群がる」
- the intrusive chicks 「その侵入してきたひな鳥」 *カッコウとコウウチョウを指す
- do away with 「排除する」
- foster parents 「血のつながりが無い親」
- organism 「有機体, 植物動物」
- Argentine Navy 「アルゼンチン海軍」
- spot 「見つける」

- the budget of the armed force are to be considered by the legislature 「軍事予算が立法部によって検討されようとしている」
- capture additional resources 「追加の資産を獲得する」
- astonished = very surprised
- ornithologist 「鳥類学者」
- mixed feeding flock 「混群」 *異なる種類が1つの群れを形成すること
- lowland tropical forest 「低地熱帯林」
- understory 「下層」
- lower layer 「より下の層」
- tanager 「フウキンチョウ」
- move about 「あちこち動き回る」
- in a such a way 「そのような方法で」
- turn out to be 「結果～とわかる」
- grab some food 「食べ物を横取りする」
- might otherwise have eaten 「さもないと食ったかもしれない」
- presumably 「多分」 = supposedly
- partially 「部分的に」
- wholly 「完全に」
- be wasted 「無駄になる, 使われていない」

(ア) ①

この文の **but** に注目するとよい。「我々は人々が偽るのを耳にすることに慣れているが、それは他の生き物においていくらかもっと () である」という内容に当てはまるものを考える。**common** 「ありふれた」と **prevalent** 「一般におこなわれる」は同義語であり、どちらも入るので迷うだろう。但し、**prevalent** の方は、特定の時間に頻繁に起きることを意味するので、本問においては、**common** がふさわしいだろう。e.g. **Colds are prevalent this winter.** 「風邪はこの冬大流行である」、**Flu is prevalent in various regions.** 「インフルエンザは各地で猛威を振るう」

(イ) ①

analogous 「類似して」という意味である。**similar** 「似ている」と近い。しかしこの **analogous** という単語は、一般的でなく難しい。同じ段落の内容から推測していくか、消去法で選ぶとよい。

- ② 「反対の」
- ③ 「科学的な」
- ④ 「よく知られた」

(ウ) ③

「なぜ人と鳥の両者によって偽装が行われるのかを伝える為に、筆者はどのような事例を使っているか」

第2段落より、③「彼は、より大きな恩恵を受け取る方法を説明する為に、嘘を付くという事例を使っている」が適切である。

①「彼は、ある種がどのように他の種をだませるかを示す為に模倣の事例を使っている」

②「彼は、どのように予算削減が止められるかを説明する為にアルゼンチン海軍の事例を使っている」

④「彼は、偽装におけるその価値を示す為に、危険な鳥の事例を使っている」

○image「事例」、○convey = show, communicate「伝える、示す」、○illustrate「説明する」

(エ) ④

「テキストによれば、正しいものはどれか」

第3段落第7～9文から、④「偽りを受け入れられる割合は、鳥の種の中では同じままである」がふさわしい。

①「カッコウとコウウチョウは両者とも、自分自身のひなを育てる」

②「見張り役が食べ物を盗む機会は15%以上増加する」

③「混群は生き残る為にお互い頼っている」

○above 15%「15%上回って」、○consistent = remain the same over time「時間をかけても変わらない、矛盾のない」

(オ) ①

「テキストによれば、誤った警告を与える際の主な問題は何か」

第3段落最終文から判断して、①「もしもあまりにも頻繁に与えられると、鳥たちは見張り役がいつ嘘を付くのか認識する」が適切である。

②「もし十分に与えられないと、見張り役はもっと食べ物を得るチャンスがあるだろう」

③「もし正確に15%行われたら、どちらの鳥も結果として何も得ないだろう」

④「もし模倣と組み合わせて一緒に用いられるなら、他の種たちはその恩恵を受け取るだろう」

○in combination with「～との組み合わせで、～との併用で」

(カ) ②

「テキストから何が推測されるか」

第1段落第1文から、②「以前人間の間でしか見られないと考えられていたいくつかの特

性が、動物界にも同様に存在する」ことが推測できる。

- ①「人間のような動物は、偽装を行う必要性を考えていない」
 - ③「1つの種として発達するのが可能な場合にはいつでも動物は人間の行動をコピーする」
 - ④「鳥だけが、個人的利益の為にうまく真似をすることができる」
- see the need「必要性を考える」、○attribute = feature, characteristic, quality, ○personal gain「私利, 個人的利益」

(キ) ④

「テキストによれば、誤っているものはどれか」

第3段落第5～8文より、上層から合流して来るフウキンチョウは違うので、④「熱帯林の三つのすべての層にいる鳥が、欺きを行った」が誤りである。

- ①「真似をすることは、動物において以前に認識された従来からの形態である」
 - ②「人間同様鳥は、他の鳥からのチャンスを有効に使う手段として嘘を用いる」
 - ③「フルーツを食べるフウキンチョウは、熱帯林の2つの異なる層で食べ物を探す」
- form = practice, tradition「従来からの形態」、○exploit others「他人から搾り取る, チャンスを有効に使う」,

(ク) ①

「テキストによれば、チャールズ・マンの主要な結論は何か」

第3段落第5文から後に述べられている。①「鳥たちは、偽る能力だけでなく、最高の報酬の為に彼らの行動を規律する」が適切である。

- ②「鳥たちは、個人的利益につながる為の偽装はできない」
 - ③「鳥たちは、嘘を付くことができるが、その行動は一般化されることができない」
 - ④「鳥と蝶は偽装を行う」
- regulate「規律する」、○optimal gain = maximum gain

(ケ) ③

「次のうち正しいものはどれか」

第3段落第1・2文より、③「様々なタイプの鳥が熱帯林の同じエリアで食べ物を探している」がふさわしい。

- ①「鳥類学者は、偽装のパターンを研究する」
 - ②「このテキストの著者は、マヌ国立公園に住んでいる」
 - ④「蝶は、個人的利益の為に偽ることが上手い」
- adept at「～が熟練している, ～が上手い」

(コ) ④

「このテキストにふさわしいタイトルを選べ」

全体を通して、人も偽装するが、鳥同士でも嘘をつくことがわかる。従って、④「人間がするように鳥もチャンスを有効に使う」がふさわしい。

- ①「すべての種の間でシェアされる行動」
- ②「模倣と偽装」
- ③「ペルーでの嘘」

(英文2)

和訳

オースティン・カールザースの物語は、1965年のある素晴らしい春の午後5時に始まる。それは、私が市内の自分のオフィスから帰る途中にカンタベリー学生病院に立ち寄った時である。5日ほど前に私が虫垂を取り除いたある新生児を術後訪問して、それから夕方
の回診の為に病院に戻るつもりだった。私がまさに彼の良好状態を説明する彼のカルテに記録を取ろうとしていた時に、ナースの一人が、自己診断で左肩を脱臼したという2年生を見て欲しいと言ってきた。私は整形外科に関する状態についてあまり語るの是不適切と感じたので、骨専門の医者が一時間以内に必ずやって来ることになっているから、彼の意見の方が私よりもずっと価値があるとその看護婦に保証し、断ろうとした。しかし彼女はしつこかった。彼女が言うにはその少年の痛みはそのような怪我にしては異常にひどいので、彼女は鎮静剤の服用をもちや待つ必要はないと感じた。

私とその少年の大きな角部屋に入ったときの乗り気ではない気持ちを理解できるだろう。彼が硬直してベッドに座っているのを見たとき驚いた。彼の右手はできる限りしっかりと左肩の一番上を掴んでいた。直立して座っている様子、激しい痛み、そして患部をしっかりと掴んでいる様子から異常に見えた。私が理解できたことはこれくらいのもだった。私はどうして肩を脱臼したとわかったのか尋ねた。するとうめきながら彼は、もっと強いけれども、その痛みが高校のときに同じ怪我を被ったことを思い起こしたと話した。しかしどうして座っているのだろうか？「なぜならば」と彼は返した。「横になると耐えられなくなるからです」私が彼に怪我の成り行きを尋ねたとき、彼は地面に叩きつけられて左の胸郭を強打したことしか覚えていなかった。彼は肩を地面に打ったのか蹴られたのかまったく記憶になかった。

外科医は骨について考える前に腹部について考える。そして私の答えはすぐにでた。私は彼のベッド脇の電話を取り上げ、カンタベリー病院の手術室に電話をして、ヘッドナースに緊急の脾臓摘出手術の部屋を準備するように電話した。

その時まで普通の色だったその少年の顔は、ベッドシーツの白さまで青白くなった。私はベッド脇に座り、出血している脾臓を一旦摘出すれば大丈夫だろうと彼を納得させた。我々は生体構造について少し話した。かつて行った中で最も短い講義において、私は説明

した。脾臓の上部が、横隔膜のリーフ状になっている下部と接触しているので、その部位におけるあらゆる炎症は両方の構造に影響を与える。発生学（胚の発生を研究する学問）的な発達段階において、私が説明をすると、それらは胎芽の時期に、共通のオリジン（起源）を持っているので、横隔膜への神経（首の第3, 4, 5 脊髄分節から出ている）はまた、肩の上部から感覚を運んでくる。その結果、横隔膜が炎症を起こすと、その痛みは、まるで肩から来ているとたびたび感じるのである。「オースティン」私は説明した。「君の脾臓の上部先端は地面にぶつかった時につぶれた。血腫と呼ばれる血の塊、貯留があつて、横隔膜に対して上に押し上げている。脾臓はおそらくゆっくりと出血している。しかしその一滴一滴がスピードをあげるかどうか、それはいつか全くわからない」

その時たまたま訪れたオースティンのルームメイトの助けをかりて、私は彼を下の階に連れて行き、彼を完全に直立にさせ、できる限り足を前に伸ばした状態で私の車の後部座席に乗せた。その姿勢だと、ちょうど痛みを和らげるくらいに脾臓は下へと引かれる傾向があつたのかもしれない。

彼の入院の記録する為に緊急室へちょっと立ち寄った後、直接手術室へと運ばれた。私はその時間を利用してグロスポイントへ電話をしてオースティンの母親に状況を説明した。彼女はその外科手術の許可をくれた。彼女とカールザース氏は3時間以内でカンタベリーに到着すると言った。

私は、オースティンの胸郭のすぐ下の腹部を開いたとき、すべては予想通りであつた。彼は、破裂した脾臓の上部に10cmの血腫を持っていて、それは横隔膜に対してきつく押し上げられていた。その出血した臓器を除去していることでは異常な問題はみられず、オースティンは夜8時には回復室にいた。彼の両親は一時間後に到着した。

<出題された単語・熟語・文法・センテンス>

- tale 「物語」
- a lovely spring afternoon 「ある素晴らしい春の午後」
- as 「～の時に」 * when との違いは同時性である。2つが同時に起こっているイメージ
- stop by ~ on my way from my office 「私のオフィスから～に立ち寄る」
- it was my intention to do~ 「～するつもりである」
- post-operative visit 「手術後の訪問」
- appendix 「虫垂」
- evening rounds 「夕方の回診」 * morning rounds, afternoon rounds もある
- be about to 「今～するつもりである」
- his chart 「彼のカルテ」
- sophomore with a self-diagnosed dislocated left shoulder 「自己診断で左肩を脱臼したという2年生」 * Freshman = 1st year college / university student, Sophomore = 2nd year, Junior = 3rd year, Senior = 4th year という言い方が一般的である

- feel inadequate 「不適切と感じる」
- orthopedic condition 「整形外科に関する状態」
- come by 「やって来る」
- reassure the nurse that ~ 「～だと言ってその看護婦を安心させる」 * = guarantee
- she was insistent 「彼女はしつこかった」
- he should not have to wait 「彼は待つ必要はなかったのに」
- a dose of painkiller 「鎮静剤の服用」
- step into 「入る」
- sit bolt upright 「硬直して座る」
- clutch 「しっかり掴む」
- sitting up 「上体を起こしていること」
- intense pain 「激しい痛み」
- tight grasp 「しっかりと掴むこと」
- the wrong place 「患部」
- figure out 「理解する」
- between moans 「うめきの間で」
- be reminiscent of 「～を思い出させる」
- sustaining the same injury 「同じ怪我を受けること」
- intolerable 「耐えられない」
- the mechanism of injury 「怪我の成り行き」
- be knocked to the ground 「地面に叩きつけられる」
- land on his left rib cage 「彼の胸の胸郭を強打する」
- He had no recollection 「彼はまったく記憶がなかった」
- bellies 「お腹 belly の複数形」
- splenectomy 「脾臓摘出」
- removal of the spleen 「脾臓の除去」
- blanch to a bedsheet white 「ベッドシーツの白さまで青白くなる」
- convince 「納得させる」
- bleeding spleen 「出血している脾臓」
- anatomy 「生体構造」
- the leaf of the diaphragm 「横隔膜のリーフ状になっている部分」
- inflammation 「炎症」
- embryological development 「発生学（胚の発生を研究する学問）的な発達段階」
- derived from spinal segments 3, 4, and 5 「脊髄分節（サービカル神経の）第3, 4, 5から出ている」
- a common origin in the embryo 「胎芽の時期における共通のオリジン（起源）」

- accordingly 「その結果」
- irritated 「炎症を起こす」
- cracked 「つぶれた, 損じた」
- collection of blood called a hematoma 「血腫と呼ばれる血の塊, 貯留」
- gravitate downward 「下方へ引かれる」
- admission 「入院, 入場」
- Grosse Pointe 「グロスポイント」
- abdomen 「腹部」
- ruptured 「破裂した」
- present no unusual problem 「異常な問題を提起しない」
- an hour later 「一時間後に」

(サ) ①

one of the bone doctors would no doubt be coming by in less than an hour と述べられていることから, ①「彼の意見の方が私よりもずっと価値がある」がふさわしい。

- ② 「私の意見は彼よりももっと適切である」
- ③ 「彼ができることは何もない」
- ④ 「私は整形外科治療の専門家である」
- come by 「やって来る」, ○ in less than an hour 「一時間以内で」

(シ) ④

前段落から, その医師の乗り気でない様子がわかる。④reluctance 「いやいやながらのこと, 気が進まないこと」がふさわしい。

- ① contentment 「満足」
- ② willingness 「意欲」
- ③ readiness 「準備」

(ス) ①

直後の彼の返答 “it becomes intolerable when I lie down” から, ①「なぜ座っているのか」が適切である。

- ② 「どのような激しい痛みなのか」
- ③ 「怪我しているのはどこか」
- ④ 「なぜ横になっているのか」
- 「intolerable」 耐えられない, ○ lie down 「横になる」

(セ) ③

「テキストによれば、オースティンはどのようにして怪我したのか」

第2段落最後 he remembered only being knocked to the ground and landing on his rib cage.より、③「彼は地面に叩きつけられて左の胸郭を強打した」が適切である。

①「彼はできる限りきつく左肩の一番上を掴んだ」

②「彼は横になった時、肩を脱臼した」

④「彼の肩は地面に打ち付けられて、蹴飛ばされた」

○shoulder dislocation「肩の脱臼」、○be knocked to the ground「地面に叩きつけられる」、

○land on his rib cage「胸の胸郭を強打する」

(ソ) ③

「テキストによれば、なぜその著者はカンタベリー病院に電話したのか」

第3段落第2文より、③「ヘッドナースに緊急手術の部屋を準備するように伝える為」が適切である。

①「骨専門医の助けを求める為」

②「オースティンの激しい痛みの止め方を同僚たちに尋ねる為」

④「オースティンの母親に状況を説明して手術の許可を取る為」

○colleagues「同僚たち」、○intense pain「激しい痛み」

(タ) ①

「テキストによれば、オースティン我肩に鋭い痛みを感じた理由は～である。」

第4段落第4文の the top of spleen lies in contact with the bottom of the leaf of the diaphragm, so any inflammation in that region affects both structures より、①「脾臓と横隔膜の間の炎症がその痛みを引き起こしていた」とわかる。

②「彼の出血している脾臓が摘出された」

③「彼の肩は地面に打ち付けられて脱臼した」

④「脳への神経が首の脊髄分節から出ている」

○inflammation「炎症」、○remove「摘出する」、○spinal segments「脊髄分節」

(チ) ③

With him in that position, the spleen would tend to gravitate downward「彼がその姿勢であると、脾臓は下へと引かれる傾向があったのだろう」という意味であるから、③to provide some relief from the pain「痛みをいくらか軽減させる為」が適切である。

①「出血のスピードをあげる為に」

②「その上部の先端がつぶされる為に」

④「血腫が横隔膜に対して上に押し上げる為に」

(ツ) ①

第4段落第7・8文に述べられている。hematoma「血腫」、spleen「脾臓」、diaphragm「横隔膜」という意味である。直前の ruptured「破裂した」、ten-centimeter がキーワードである。it was pressed tightly up against the~「それは、～に対してきつく押し上げられていた」という内容から考える。

(テ) ③

「テキストによれば、次のうち誤っているものはどれか」

第2段落の最後に述べられている。③「オースティンの痛みははととても激しいので、彼の肩が地面に打ち付けられたことが思い出せなかった」が誤りである。

- ①「著者は外科医である」
- ②「著者のその状況に対するレスポンスが迅速でオースティンの命を救うことができた」
- ④「著者はオースティンの母から外科手術の許可を取った」

(ト) ②

「このテキストから何が推測できるか」

第3段落第1文と最終段落から、②「医師の即座な判断はその患者の命を救うことができる」がふさわしい。

- ①「骨専門医は、骨について考える前にお腹について考えるべきである」
- ③「出血している臓器を摘出するのはとても注意を要するので長い時間がかかる」
- ④「どんな状況でも、医師は患者の病気について講義を与えるべきである」

<出題された単語・熟語・文法>

- persuasive「説得力のある」
- persuasion「説得力」
- persuade「説得する」
- symptom「徴候, 症状」
- tumor「腫瘍」
- infection「感染」
- inflammation「炎症」
- be struck with「とたんに～なる, 心を打たれる」
- strained「張り詰めた」
- stroke「脳卒中」
- strew「ばらまく」
- biological「生物学上の」

- trial and error 「試行錯誤」
- interrogate 「尋問する」
- aspire to do 「～したいと熱望する」
- start out 「出発する, とりかかる」
- autism 「自閉症」
- intuition 「直感」
- vary depending on 「～によって変わる」
- until 「～までずっと」
- be trapped 「逃げ場を失う」
- shortly before 「直ぐ前に」
- tricky = difficult
- be known to be 「～と知られている」
- keep 人 from ~ing 「人に～させないようにする」
- move out 「出て行く」
- run into 「偶然会う」
- carry through 「成し遂げる」
- over again 「もう一度」
- hurried step 「急ぎ足」
- wise saying 「格言」
- wise 「賢い, よく考えられている」
- in the past twenty years 「過去二十年間で」
- apparently 「見たところ～らしい」
- make sense of 「～を理解する」
- make sense 「意味をなす」
- darkness fall 「あたりが暗くなる, 日が暮れる」
- have second thought about ~ 「～について考え直す」
- exploitation 「利己的利用, 搾取」
- lying 「嘘を付くこと, 偽り」
- deception 「欺くこと」
- mimicry 「真似をすること, 模倣」
- bad taste 「悪趣味」
- the intrusive chicks 「その侵入してきたひな鳥」
- do away with 「排除する」
- foster parents 「血のつながりがない親」
- organism 「有機体, 植物動物」
- Argentine Navy 「アルゼンチン海軍」

- spot 「見つける」
- capture additional resources 「追加の資産を獲得する」
- astonished = very surprised
- ornithologist 「鳥類学者」
- lowland tropical forest 「低地熱帯林」
- lower layer 「より下の層」
- move about 「あちこち動き回る」
- in a such a way 「そのような方法で」
- turn out to be 「結果～とわかる」
- grab some food 「食べ物を横取りする」
- might otherwise have eaten 「さもないと食ったかもしれない」
- presumably 「多分」 = supposedly
- partially or wholly 「部分的にまたは完全に」
- be wasted 「無駄になる, 使われていない」
- image 「事例」
- convey = show, communicate
- illustrate 「説明する」
- regulate 「規律する」
- optimal gain = maximum gain 「最高の報酬」
- tale 「物語」
- a lovely spring afternoon 「ある素晴らしい春の午後」
- stop by ~ on my way from my office 「私のオフィスから～に立ち寄る」
- it was my intention to do~ 「～するつもりである」
- post-operative visit 「手術後の訪問」
- appendix 「虫垂」
- evening rounds 「夕方の回診」
- be about to 「今～するつもりである」
- his chart 「彼のカルテ」
- sophomore with a self-diagnosed dislocated left shoulder 「自己診断で左肩を脱臼したという 2 年生」
- feel inadequate 「不適切と感じる」
- orthopedic condition 「整形外科に関する状態」
- come by 「やって来る」
- reassure the nurse that ~ 「～だと言ってその看護婦を安心させる」 * = guarantee
- she was insistent 「彼女はしつこかった」
- he should not have to wait 「彼は待つ必要はなかったのに」

- a dose of painkiller 「鎮静剤の服用」
- step into 「入る」
- sit bolt upright 「硬直して座る」
- clutch 「しっかり掴む」
- sitting up 「上体を起こしていること」
- intense pain 「激しい痛み」
- tight grasp 「しっかりと掴むこと」
- the wrong place 「患部」
- between moans 「うめきの中で」
- be reminiscent of 「～を思い出させる」
- sustaining the same injury 「同じ怪我を受けること」
- intolerable 「耐えられない」
- the mechanism of injury 「怪我の成り行き」
- be knocked to the ground 「地面に叩きつけられる」
- land on his left rib cage 「彼の胸の胸郭を強打する」
- He had no recollection 「彼はまったく記憶がなかった」
- bellies 「お腹 belly の複数形」
- splenectomy 「脾臓摘出」
- removal of the spleen 「脾臓の除去」
- blanch to a bedsheet white 「ベッドシーツの白さまで青白くなる」
- convince 「納得させる」
- bleeding spleen 「出血している脾臓」
- anatomy 「生体構造」
- inflammation 「炎症」
- embryological development 「発生学（胚の発生を研究する学問）的な発達段階」
- derived from spinal segments 3, 4, and 5 「脊髄分節第3, 4, 5から出ている」
- a common origin in the embryo 「胎芽の時期における共通のオリジン（起源）」
- accordingly 「その結果」
- irritated 「炎症を起こす」
- cracked 「つぶれた, 損じた」
- collection of blood called a hematoma 「血腫と呼ばれる血の塊, 貯留」
- gravitate downward 「下方へ引かれる」
- admission 「入院, 入場」
- abdomen 「腹部」
- present no unusual problem 「異常な問題を提起しない」
- reluctance 「いやいやながらのこと, 気が進まないこと」

- contentment 「満足」
- willingness 「意欲」
- readiness 「準備」